



倉敷市立玉島西中学校

校長室だより

校訓：誠実に たくましく

第17号

令和7年2月14日（金）

能登半島地震災害義援金へのご協力ありがとうございました！

2月3日（月）から2月13日（木）までの間、生徒会執行部を中心に能登半島の被災地に向けた募金活動を行いました。能登半島地震から1年が経ちましたが、未だに復興には時間がかかるとされています。そこで、今年も被災された方や困っている方のためにできることは何かを考えて活動しました。校内では、生徒会執行部が生徒玄関で、学級委員が各クラスで朝の会の時に呼びかけを行い、10日で16,000円ほどの義援金が集まりました。寄せられた義援金は、倉敷市の他の義援金と合わせて被災者支援に活用してもらいます。皆さんの思いが被災された方々の心に届くことを願っています。

募金箱

2年立志記念講演・立志式・1年参観授業および懇談への参加ありがとうございました

2月5日（水）の5校時に2年生は、教育サポーターの仲島正教さんを講師にお迎えして、「あーよかったな あなたがいて」～「つながりと感動」そして「夢」を～と題して、講演していただきました。「優」の字には、優しさは使えば増えることを意味しており、また、命は自分のため、他人のために使うためにあるということ、教えていただきました。

そして、2月7日（金）の6校時に、2年生は立志式、1年生は参観授業を行い、その後懇談を行いました。どちらも90人を超える保護者の参加がありました。立志式では、代表生徒による立志の言葉に続いて、各クラス代表1名が「私の決意」と題して家族への感謝や将来の夢などを発表しました。また、体育館壁面には、事前に自分の思いを込めた「座右の銘」を書いた色紙が掲示され、生徒・保護者ともに熱心に鑑賞していました。また、式の中で、儒学を興した孔子が「吾十有五歳にして学に志し…」と述べたと『論語』に記されていることや、日本でも幕末に活躍した橋本左内という人物が十五歳の元服の時、『啓発録』を記したというお話をしました。橋本左内が挙げた五か条のうち、「稚心を去る」、「志を立つ」の2つを紹介させていただきました。



新入生説明会を実施しました

2月12日（水）に新入生説明会を実施しました。初めに児童の皆さんは、中学校の校舎や授業を見学し、その後、保護者の方と一緒に中学校の学習や生活についての説明を聞きました。2か月後には、入学してきます。先輩となる1・2年生の皆さんは、自分が入学当初、心配だったこと、うれしかったことなどを思い出しながら、新入生が中学校生活を笑顔で過ごせるよう、上級生としてどのような態度で接したらよいか考えておいてください。



学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

お忙しい中、回答にご協力いただきありがとうございました。また、当初質問が1つ抜けているということもあり、ご迷惑おかけしました。回答の集計結果をホームページの学校評価（MENUを追加）に載せておりますので、ご覧ください。来年度の教育計画・学校経営に生かしていきたいと思っております。